

# 持続的な林業経営を目指して

(低コスト再造林)

- ・労働強度軽減
- ・労働安全確保
- ・就業者確保

・初期投資(造林経費)軽減

・山地災害防止

目指す森林の姿  
・育成単層林  
660万ヘクタール  
・天然林・針広混交林  
370万ヘクタール

人工造林地(育成単層林)の絞り込み  
(林業機械導入可能地)

・地位、地形(傾斜)  
・既存林道網

要件の明確化(宮崎県の例)  
・地位(高い)  
・林道からの距離(300m以内)  
・雑草木の再生量(少ない)

・作業システム改善  
(伐採、植栽一貫作業)  
・機械化促進  
(苗木運搬ドローン・電動アシスト)

・下刈り回数削減  
(2年生時1回刈)  
・下刈り時期の調整  
(猛暑時期の回避)

・成長の優れた苗  
(特定苗木、コウヨウザン等)  
・コンテナ苗、大苗  
(300cc、90cm程度)

・植栽本数減  
(1000本~1500本)  
・下刈り方法改善  
(全刈⇒坪刈)

フジ、クズ類の  
ツル切りが重要

補助体系の整備

# パネルディスカッション 論点

- (1) 福島県の林業の現状・課題をどのように認識しているか。
- (2) 森林所有者・林業事業者の視点から、皆伐・再造林を進めるにはどうしたらよいか。
- (3) 福島県の林業の将来像は？